

不安・痛み・悩みを1人で抱え込まない ラジオドラマCM『明日への扉』を 11月4日まで放送しています

放送期間：2016年10月3日（月）～2016年11月4日（金）

チャンネル：RKBラジオ（RKB毎日放送）

【AM】福岡：1278kHz／北九州：1197kHz／大牟田・行橋：1062kHz

【FM】福岡局91.0MHz／北九州局91.5MHz／糸島局94.6MHz／行橋局94.8MHz

放送時間帯：毎週月曜日～金曜日 16時54分頃から5分程

ミニドラマの構成：

ドラマは全6種類★あり、1話3～4分程度でいずれも一話完結です：

第1話：やっぱり家はいいよネ♪

第2話：まさか！？ 私が乳がん。

第3話：お父さん、手術してよっ！！

第4話：がんでも仕事は辞めません。

第5話：もう痛みはがまんしない

第6話：医療用麻薬はこわくない

制作・企画：国立がん研究センターがん対策情報センター

協力：福岡県がん診療連携協議会地域連携・情報専門部会

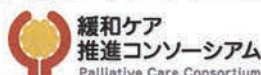
協賛：緩和ケア推進コンソーシアム

後援：福岡県、RKB毎日放送

★放送スケジュール等の詳細はこちらからもご確認いただけます
http://ganjoho.jp/public/consultation/cisc_pr/radioCM/fukuokaken.html



病気に伴う心と体の痛みを和らげるラジオCMシリーズは国立がん研究センターが企画・制作し、緩和ケア推進コンソーシアムがお届けします。



**連動企画：ドラマ「明日への扉」に登場するがん相談支援センターは、治療中も自分らしく
過ごせるように支援する緩和ケアの「入口」です：**

がん医療における緩和ケアのこと、誤解していませんか？

自分らしく過ごせるように支援するのが緩和ケアの役割です

緩和ケアの役割は、時期にかかわらずがんに伴う体と心の痛みやつらさを和らげる ことです。また、緩和ケアは、患者さん本人や家族が「自分らしく」過ごせるように支えることを目指します。体のつらさだけでなく、心のつらさあるいは療養生活の問題に対しても、社会制度の活用も含めて幅広い支援を行うことも大切な役割です。

痛みやつらいことは、「仕方がないことだ」とあきらめることはありません。つらい気持ちを「人に伝えること」が、あなたの苦痛を和らげるための第一歩になります。担当医や看護師、担当医に相談しにくいときは、がん相談支援センターに緩和ケアについてご相談ください。

緩和ケア推進コンソーシアムは、「すべてのがん患者さん及びそのご家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の向上」において相互の協力が可能な分野における連携を推進するため、国立がん研究センターと協定を交わしています。

本協定にもとづき、本ラジオドラマCMを協賛すると共に、緩和ケアの考え方を案内する小冊子「がんの療養と緩和ケア」をがん診療施設周辺の調剤薬局、あるいは市民公開講座で配布するなど緩和ケアの普及・啓発のための活動を行っています。



